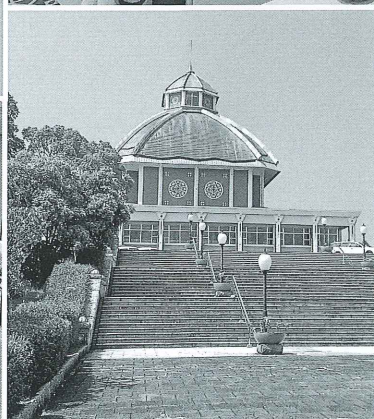
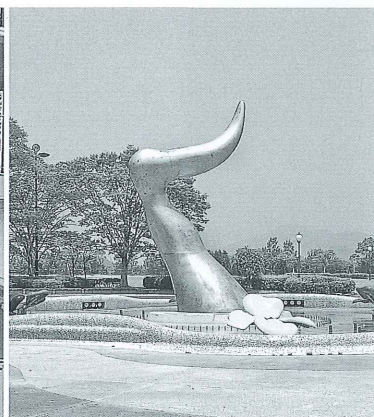


Link

2018.8



Contents 目次

- ザ・リーダー魂〜Leader's Soul 1
佐賀県中小企業青年中央会
会長 原田 守氏
- 平成30年度中小企業組合トップ
セミナー盛会に開催! 3
- 第70回全国大会のご案内 4
- 組合トピックス/佐賀工場団地協
同組合/諸富家具振興協同組合 5
- 中央会トピックス/各種中央会
出前講座を開催/有田焼新作
展示会にブース出展しました 6
- 中央会CYBERニュース
No.201808 7
- 事務局代表者会通常総会開催! 8
- PR 仕事休もっ化計画! 9
- 佐賀中通信 2018.8 第42回
青年中央会通常総会 開催! 10
- 景況NEWS 平成30年5〜6月分 12
- 新入職員ご紹介/中退共 15
- これからの行事予定・編集雑記 16

NO.228

中小企業団体中央会は、各都道府県に一つ設置された47の都道府県中央会と、中央に全国中央会があり、中小企業等協同組合法に基づき、中小企業組合の連携支援機関として設置されている団体で、組合等を会員として、国・県の助成金等により運営され、組合及び中小企業の健全な発展を図ることを目的としています。

佐賀県中小企業団体中央会の主な事業は次のとおりです。

1 支援事業

- 組合設立 中小企業の組織化に関する一切の支援
- 窓口相談 組合並びに組合員の運営・経理・労働・金融・税務・情報化等の相談
- 巡回相談 指導員の巡回による組合運営等の支援
- 労働相談 労働問題全般についての支援
- 個別専門指導 弁護士・公認会計士・税理士・中小企業診断士・各コンサルタント等の専門家による指導

2 金融の相談・あっせん

- 金融あっせん 商工中金をはじめ政府系金融機関等への事業資金の融資相談
- 共同施設設置相談 中小企業高度化資金の導入指導等
- 制度金融の相談 組合共同事業資金等の県の各制度資金等の相談

3 教育・情報提供事業

- 講習会・研修会の開催
- 情報の提供
- 教育器材の貸出
- 情報連絡員の設置

4 調査・研究事業

- 各種実態調査
- 研究会等の開催
- 各種委員会・懇談会の開催

5 組合助成事業

- 中小企業連携組織等支援事業
- 組合等の情報化対策事業
- 小企業者組織化指導事業……以上の事業の経費に対する助成

6 共済事業

- 中小企業倒産防止共済制度
- 特定退職金共済制度
- 総合保障共済制度
- 企業年金保険制度
- 所得補償制度
- 中小企業オーナーズプラン
- 中小企業PL保険制度
- 火災共済制度
- 自動車事故見舞金共済制度
- 個人情報漏えい賠償責任保険制度

7 青年部活動

- 中小企業青年経営者・後継者の資質の向上のための研修会の開催やそれに対する助成

8 建議・表彰・親睦・その他

- 中小企業対策の強化・推進のために国・県等に対する建議陳情
- 事業運営の優秀な組合及び功労役職員の表彰、国・県に対する表彰者の推薦

西日本豪雨災害お見舞い

この度の西日本豪雨によって被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

佐賀県内においても尊い人命が失われ、また多くの土砂災害等が発生いたしました。西日本の広域で、平成に入って最悪の甚大な被害をもたらしたこの度の豪雨災害について、私共中央会といたしましても復旧・復興に向けて全力を挙げて取り組む所存でございます。

直接的に被害を被った県内組合関係のみなさま、取引先が被害を受けた等、間接的被害が生じたみなさまにおかれましては、今後の事業再建や事業継続等に関して遠慮なく本会にご相談ください。

ザ・リーダー魂 Leader's Soul

「一所懸命の心を胸に、 次世代の青年経営者育成に尽力する」

佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA） 会長 原田 守 氏
（株式会社エムズグリーンサービス 専務取締役）

佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）は、次代の佐賀県経済界を担う中小企業の青年経営者、若手後継者等が自主研鑽や勉強会、交流会を通して自らの知見・能力を高め、自らの事業を発展させる事により以って県内の経済界を活性化することを主な目的としており、昭和51年に結成されました。

現在、37組合の青年部が所属しており、勉強会、交流会、県内外への視察、大会等への参加など各種事業を行いながら会員一同切磋琢磨して資質向上に励んでいます。本記事では、先日選任され就任された原田新会長をご紹介します。

—本日はよろしくお願いします。原田会長はこの6月の通常総会で選ばれて、佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）会長に就任されましたが、会長に就任されるまでの経緯をお教えてください。

原田 私は4年ほど前、佐賀県商工会青年部連合会という、県内各市町にある商工会の青年部組織の佐賀県連で会長職を勤めさせていただいておりました。その時に、佐賀県中小企業青年中央会・佐賀県商工会青年部連合会・佐賀県商工会議所青年部連合会・日本青年会議所佐賀ブロック協議会・佐賀県農協青年部協議会の5青年部組織で「佐賀県友好青年5団体」という協定を結び、農商工分野の青年経営者・後継者を県全域で網羅して交流を促進しようという、佐賀県では初めて、全国的に見ても早い事例となる素晴らしい取り組みが開始されました。お恥ずかしながらこの時に初めて中央会にも青年部組織があるのだと知りました。そして異業種間で交流し、互いに切磋琢磨して自分達を高めていくというその理念・取組等を洲上前会長からお聞きし、こんな素晴らしい団体があるのか、と率直に感じました。弊社(株)エムズグリーンサービスは、佐賀県環境整備事業協同組合という、一般廃棄物処理や浄化槽のメンテナンス等を行う事業者の組合員ですが、青年中央会の親会である佐賀県中小企業団体中央会の会員でしたので、私どもの組合青年部としても佐賀県中小企業青年中央会に是非加盟したいと考え、青年部内で話し合いの末に会員となりました。

—実際に青年中央会に加入され、どうお感じになりましたか。

原田 加入前に感じた通り、その理念としては非常に良いものを持っており、とても良い組織だと感じました。一方で、私ども青年部の事を考えて自戒の念を込めていると、「この組織をもっと上手く利用できるのではないか」とも感じました。当初は慣れないという事もあるが、せっかくの異業種交流のチャンスである懇親会の席などで、ついつい自分達の青年部だけで固まってしまう事もあるが、チャンスを見逃している面もあるなと思った次第です。せっかくの立派な組織なので、会員の皆様には是非積極的に異業種交流を行い、違った見方・価値観に触れて、自分の中の視野を広げ素養を高めて欲しいと思います。

—先ほど洲上前会長のお名前が出てきましたが、前会長から会長職を引きつぎ青年中央会を率いていく立場となった現在の心構えをお聞かせください。

原田 洲上前会長も、会員間のコミュニケーション促進を第一に考え、各種研修会・交流会といった種々の事業に会員が「楽しく参加できるような雰囲気」を作っていました。その理念に感銘を受けて私共の青年部を本会に加入促進した私



としても、洲上前会長のその路線を引き継ぎ、さらに確固たるものにしていきたいと考えます。その強化策の一環として、今年から新しい取り組みとして、青年部の目玉事業である「後継者育成事業」のメニューの中に既存の「視察研修事業」に加えて新しく「新商品・新サービスの開発及び販路開拓事業」として青年部間コラボレーションによる事業を新設いたしました。これは、複数の組合青年部が共同で計画し、新たなビジネスチャンスの創出等に資する取組みに補助金を出す事業です。具体的には、たとえば複数青年部が共同で行う共同開発等に資する視察研修費や、共同で商品開発するために要する経費、展示会の出展を通してそれぞれの青年部の製品を共同でPRするために要する経費に助成金を出すというものです。

この事業に関しては、必ず2組合以上のコラボレーションをせねば補助対象になりませんので、より一層会員間の交流が促進されると期待しています。

—青年部間の交流を促進するには非常に良い施策ですね。

原田 本当は一青年部で完結した方が補助事業としては使い勝手は良いのですが、複数青年部のコラボレーションを条件とする事により、単に特定のある青年部の製品・サービスの質の向上のみにとどまらず、実施青年部の異業種との連携、ある種のビジネスマッチングのパイロットスタディとすることが出来ます。つまり、この事業を実施した青年部関係者には交渉や調整といった実務的経営能力の向上をも期待できます。こうした多少のハードルに抵抗のある方もあるかもしれませんが、何よりもまず、これまで以上に会員間の交流が促進できるような運営を第一に考えていきたいと考えます。

—原田会長の強い思いと、青年中央会の会員青年部への期待がよく伝わります。

原田 異業種との交流では、自分たちの業界の仲間だけではなく、思いやめのようなヒントをいただけることもあり、それを自分の業界、自社に持ち帰ればさらに自社の事業の質を高められるだけでなく、全く新しい商品やサービスが生まれてくる事すらあり得るはずです。日本の人口が減少に転じ、国内市場が縮小期へと突入したこれからの時代に、青年部の若い経営者・後継者が立派な経営者として自社事業をさらに発展させていく為には、既存のやり方をそのまま続けるだけではなく、そうした全く新しい考え方やひらめき、発想による経営の革新が必要不可欠なものとなるのではないのでしょうか。

一原田会長の新体制の下、新規補助事業が立ち上がりましたが、その他に重点施策などお考えでしょうか。

原田 皆さんご承知のとおりですが、今年は明治維新150年にあたります。これを記念して、明治維新の立役者の雄藩の一つである佐賀でも県内各地で様々な催しが開催されています。この催しの一つとして、10月に「さが維新まつり」という県民参加型の大イベントが開催される事が先ごろ県から発表されましたが、県内の次代を担う若手経営者・後継者の未来を志向する精神と行動する力を是非借りたいと、私ども青年中央会にもこの「さが維新まつり」への協力要請が佐賀県からありました。直近ではこの催しに全面協力することで、明治維新时期に活躍した佐賀の賢人達にも決して負けていない大志を持つ我々若手経営者・後継者の姿を県民の皆様にも見ていただければと思っております。

また、中期的には3年後に迫る「中小企業団体九州大会・佐賀県大会」に関連して開催される、佐賀県中小企業青年中央会がホストとなり開催する「青年部の集い」に焦点を合わせ、実施体制づくりやイベント企画内容等を吟味し組み立てていきたいと思っています。中央会青年部による「青年部の集い」では九州沖縄各県の中央会青年部団体が集結し、交流を行い、九州・沖縄は一つだという気持ちを育み共有することで、若い経営者が広域にネットワークを広げ、切磋琢磨し、あるいは非常時に助け合える仲間を作っていく事が出来る非常に重要な意義を持ち、各県持ち回りで毎年開催されております。それぞれの県がそれぞれに工夫を凝らして参加者を楽しませ、温かいおもてなしをしてくれる、そんなイベントです。これに参加した青年経営者は必ず何かを持ちかえる事が出来るので、参加者から悪い話を聞いたことがありません。今年は中小企業団体中央会の九州大会はお休みですが、熊本で青年部の集いが開催される予定で、勿論佐賀からも大勢で参加出来ればと思っています。この「青年部の集い」が3年後、佐賀で開催される予定ですので、私ども青年中央会として、何としても参加される方を楽しませ、「得るものがあった」と思っていたくイベントにしていきたいと考えております。

一なるほど、これからの原田会長のご活躍と佐賀県青年中央会の発展が楽しみになりました。

原田 会員の皆様、本会を支えて下さる親会含めた皆様のご期待に添えるように努力していきたいと思っております。

一このインタビューでは「人となり」をお伝えすべく、プライベート面の質問もさせていただいております。休日など、時間がある時はどう過ごされておりますか。

原田 最近は何を置いても優先したいというレベルでの趣味というとなかなか無いのですが、ゴルフはお付き合い程度に嗜みますね。とはいえ、基本的には家族サービスを優先させていますね。寸暇があれば読書などもしますが、好きなジャンルというものも特になく、ビジネス書から小説まで、興味が湧いたものについては雑多に読む感じです。

一職種・業種に関わらず、最先端のビジネストrendを知る事は大事ですね。

原田 最近気になっているのが「IoT」や「ドローン」等の新しい技術です。実は、私どもの業種では下水管の点検等、未だ人が実際に管の中に入り込んで実施せねばならない場面があります。時折事故のニュース等も聞かれた事があるかもしれませんが、マンホールの中は酸素濃度が低かったり有毒なガスが発生したりしている事もあり、また出入りの際の落下事故に気を付けねばならないなど非常に危険な場所なのです。点検業務の一部をドローンで代替できれば、人命を危険に晒すような場面を減らす事が出来ますので、経営リスク低減に繋がればはしないかと思っているのですが、残念ながらこれはまだ私の中の構想段階で、現実的スケジュールでこれに取り組むには至っておりません(笑)。

一ドローンを活用して人命リスクを低減する取組、実現出来れば素晴らしいですね。中央会としても実現に向けて何か協力出来ればと思います。その他、最近読まれた本で特に印象に残ったもの等ありますでしょうか。

原田 子供が読んでいた本で、私も気になって読んでみたのが吉野源三郎さんの『君たちはどう生きるか』という小説です。元々は80年前、戦前に著された児童生徒への情操教育を目的とした児童文学書との事ですが、「自分に向き合い、自分の人生の諸々を日々考えて生きなさい」という本書を通じたメッセージが、むしろ現代の大人にも通じる、実に深い著作だなと感じました。これは未読の方には是非お勧めしたいですね。

一座右の銘、あるいは自社経営等で常日頃心掛けている事などございましたら教えてください。

原田 座右の銘というような、ちゃんとした言葉で言えるかどうか分かりませんが、「今いるところで最大限自分の力を発揮して頑張る」でしょうか。人の人生はまさに十人十色、誰一人として同じ人生などありません。人生では、自分で選択し、あるいは自分で掴み取る場面もあれば、仕事・立場など他者から与えられる場面もある。今現在自分が居るポジションは、その両方の要素の上に辿り着いた場所です。そうであるとするならば、今自分の居る場所・立場に不満なんか言っていないで、その場で最大限の力を尽くした方が、生き方として後々悔いはないと思うのです。

一鎌倉武士のいう所の「一所懸命」ですね。確かに情報過多の現代、他者と自分を比較しがちな現代の私達にとって振り返るべき原点の一つかもしれませんね。

原田 そう言っていたらとありがたいです。仕事でもそうですが、与えられた立場の中で、一所懸命努力する。たとえその結果としてミスがあったとしても、私はそのミスをしつこく責めたりはしたくありません。そもそも人間とは「ミスをする」動物だと思っています。勿論、ミスした人には再発を防ぐための反省は求めますが、感情に任せて相手のミスを責める事だけに終始するのは間違っていると考えます。「ミスは起こるもの」という前提で、ではそのミスをどうリカバーしていくかという点に注力した方がよほど生産的で健全だと思うからです。

一上に立つ者がそういう気持ちであってくると、その仕事に関わる全ての人にとって、きっと働きやすい職場になっていくでしょうね。

原田 一所懸命にコツコツと真面目に仕事に取り組み、ミスを責めるより挽回に力を入れる。そうした努力を積み重ねてきた結果、弊社は地元根付いた企業として50年あまり事業を営んでまいりましたが、その環境に胡坐をかかないように、常に改善の努力は続けていきたいと考えております。今回会長職を拝任させていただきましたので、青年中央会でも同じように、改善・改革の努力を怠らずに会員の皆様にさらに貢献できる立派な団体していきたいと志を新たにしております。

一原田会長の手腕によって更にパワーアップした佐賀県中小企業青年中央会の姿に期待いたします。本日はありがとうございました。

親組合(佐賀県環境整備事業協同組合)では理事職としても活躍中の原田新会長。ご出身は鹿児島県とのこと。「薩摩」の才能が、「肥前」の青年部組織で力を発揮するという、明治維新150年に相応しいタイミングで誕生した、現代の「肥前・薩摩同盟」を体現したような原田会長。今後の活躍が楽しみです。

平成30年度中小企業組合トップセミナー盛会に開催！



平成30年7月17日（火）、18日（水）の二日間にわたり、夏期恒例の「中小企業組合トップセミナー」を、嬉野市嬉野町「観光ホテル大正屋」にて開催しました。

セミナー初日は、『地域の経済を考える－真の地方創生とこれからの中小企業－』をテーマとして、自治省（現・総務省）出身で、鳥取県知事、総務大臣を始めとした要職を歴任された、早稲田大学公共経営大学院教授の片山 善博氏をお迎えしてご講演いただきました。片山氏は、問題意識として人口減少期に入り、消滅可能性896都市という結果を突きつけられた現代の日本における地方創生の在り方について、ご自身の鳥取県知事の時代のエピソードを皮切りに話を始められ、現在の地方創生の施策が本当に地方の為にしているのか、限られたパイの奪い合いになっているのではないかと疑問を会場に向けて問いかけられました。

片山氏は、ご自分が入省した当時の昔の自治省では自分含めて地方出身者が半分以上を占めていたキャリア官僚の世界が、今や東京と周辺の関東地域出身者が8割以上を占める状況であり、地方の事は肌感覚で解っていない為に「本当に地方の為にになる施策」は国からは出てこないのではないか、従って、地方自治体の態度としては国の施策だからといって無批判に全てを受け入れる事無く、ちゃんと自分達にとって本当に意味がある施策なのか否かを吟味して是々非々で実施すべきだとお話をされました。また、地方は「稼ぐ力」を養うとともに、「お金を域外に流出させない努力」も必要であるとして、施策利用にせよ県内の産業育成にせよ、地域経済を考える上では「まずは地域本位で考える事」であり、これこそが目指すべき真の地方創生の在り方ではないかと述べられ、会場一同真摯な片山氏の語り口に真剣に耳を傾けていました。一通りの講演の後質疑応答でも活発な質問がなされ、万雷の拍手のうちに終了しました。

セミナー初日終了後にはセミナー参加者による「交流懇親会」を開催いたしました。本日の講演内容や日本経済や世界情勢等について、あるいはそれぞれの組合、業界の事から個人的なお話に至るまで、参加者同士で多岐にわたる情報交換をしながら大いに交流・親睦を深めました。



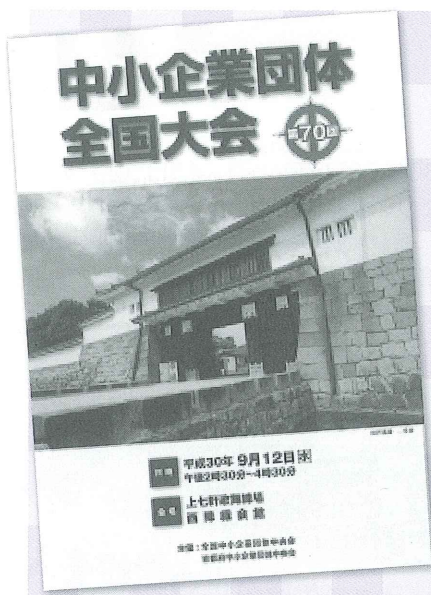
セミナー二日目には、「会社に元気・活気・勇気を与えるトーク術－スポーツ現場に学ぶペップトーク－」をテーマに、一般財団法人日本ペップトーク普及協会会長 岩崎由純氏にご講演をいただきました。ペップトークとは、選手、生徒、部下などを励ますのに監督・コーチといった「指導者」が試合前（本番前）に使う「激励のショートスピーチ」の事で、岩崎氏は国内の第一人者。主にスポーツ分野で発達してきた手法ですが、会社経営において、社員を育てていく事など人材育成にも活かす事が出来る手法として現在注目されています。

その神髄は、短く、分かり易い言葉で、魂を揺さぶり人をその気にさせる言葉遣いの作法であり、ポジティブな表現を心掛けること、それによりあるべき（成功した）自分のイメージを持ってもらう手法など、岩崎氏は様々な実例

を挙げながら、ペップトークについてのお話を展開。その説明方法もまさにペップトークそのものであり、参加者の感情は揺さぶられ、時には涙が溢れそうになったという参加者もあり、盛会裏に終了しました。

なお、今年のトップセミナーには約70名の県内中小企業組合の関係者にご参加頂きました。お忙しい中ご参加いただいた皆様方、誠にありがとうございました。

第70回中小企業団体全国大会のご案内



全国の中小企業者による決意表明と、国への中小企業対策の更なる拡充要請を全国規模で行うための「第70回中小企業団体全国大会」が来る9月12日(水)、「つながる ひろげる 連携の架け橋」をスローガンとして掲げ、『明治150年 歴史と文化、地域を支える中小企業が未来を拓く』をテーマに京都府京都市上京区「上七軒歌舞練場」並びに「西陣織会館」の両会場で開催されます。

大会には、全国から参集する約2,000人の中小企業組合の代表者とともに、関係大臣、政党代表、中央官庁の長等にもご臨席いただき、当日行われる決議を通じて直接要請を行います。

本会では、これに向けて全国大会オリジナルツアーを企画いたしました。

今回は、全国大会参加後に京都市内を經由して京都でも訪れる機会の少ない日本海側を中心とした研修・見学ツアーを企画しております。今年の京都大会は東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨、大阪府北部地震、先般の西日本豪雨災害等からの復興・復旧を目指し、重要な意味を持つ、大変意義深い大会となります。

是非、佐賀県からも多くの中小企業団体関係者の皆様にご参加いただき、大会の価値を高めて国等に対してより効果的で意味のある、利用しやすい中小企業支援策等の創設を働きかけていきましょう。

本会オリジナルの団体旅行を是非ご利用いただき、多くの皆様に全国大会にご参加くださればと思います。

■第70回中小企業団体全国大会

日 時：平成30年9月12日(水) 14:30~16:30

場 所：京都府京都市上京区「上七軒歌舞練場」「西陣織会館」(会場が2ヶ所に分かれます)

主 催：全国中小企業団体中央会／京都府中小企業団体中央会

大会参加料：6,000円(本会ツアーをご利用の方は別途ツアー料金(後述)が必要です)

■佐賀県中央会オリジナルツアー

※原則全行程参加での企画ですが、一部参加等別行動を希望される方もご相談に応じます。

■集合場所：博多駅新幹線中央改札口(ミスタードーナツ前)

■集合時間：午前9時00分

	月日(曜)	行 程	宿泊地
1日目	9月12日(水)	新幹線【車内にて昼食(弁当)】 博多駅 9:33 発 → 京都駅 12:17 着 12:30 発 → 上七軒歌舞練場 13:00 着 → 西陣織会館 13:20 着 第70回中小企業団体全国大会 上七軒歌舞練場 14:30~16:30 西陣織会館 14:30~16:30 上七軒歌舞練場 17:00 頃 → ホテル「花郷」17:30 着 → チェックイン後懇親会場へ 18:30 開始	ホテル京阪京都グランド 電話：075-661-0321 住所：〒601-8003 京都府京都市南区東九条西山王町31 ※懇親会場：祇園「花郷」 電話：電話：077-534-1511 住所：京都府京都市東山区花見小路四条下ル
2日目	9月13日(木)	ホテル 8:30 発 → 將軍塚育龍殿 8:55~9:40 → 三十三間堂 10:00~10:40 → 寺田屋 11:00~11:40 → 伏水蔵【昼食→見学】11:50~13:10 舞鶴・海軍ゆかりの遊覧船 15:10~15:50 → 舞鶴引揚記念館 16:00~17:00 → 宮津 18:00 着	ホテル＆リゾート KYOTO-MIYAZU 電話：0772-25-1800 住所：〒626-8510 京都府宮津市宇田井小字岩本58 ※19:00~ホテルにて懇親会
3日目	9月14日(金)	ホテル 8:40 発 → 知恩寺~廻旋橋 9:00~9:30 → 宮津棧橋 ~ 一の宮棧橋 → 森松公園 橋立やまいち 11:25~12:20 → 文殊荘「MON」【昼食】12:20~13:20 → 新神戸駅 15:40~16:18 → 博多駅 18:33 着	なかなか訪れる機会の少ない京都府北部地域での視察等を実施します! 資質向上のための研修の一環として、あるいは福利厚生事業として是非中央会によるツアーへの参加をご検討ください。

(1) 日 程 9月12日(水)~14日(金) 2泊3日

(2) 行 程 上記『旅行行程表』のとおり

(3) 参加費用

○大会参加料 6,000円

○旅行費用(交通費、宿泊費、懇親会費、その他諸経費) 112,000円

参加費用合計 118,000円

(4) 申込期限 別途組合にお送りしたご案内には8月10日(金)としておりましたが、8月中旬までお受けいたしますので、是非ご検討の上お申し込みください。

◎留意事項

- ・旅行費用につきましては、参加予定人員数に満たない場合ご負担金額が変わる場合がございますので予めご了承ください。
- ・申込後に取り消された場合は、大会参加料6,000円と、キャンセル料をご負担いただくことをご了承ください。
- ・集合時間の時刻等については、変更になる可能性がありますので、参加される方には別途改めて正式な参加案内をお送りいたします。

なお、「一部行程参加」なども可能です。詳細は担当者(電話 0952-23-4598 担当：舩田)までお問い合わせください。

佐賀工場団地協同組合の組合員工場見学を させていただきました!

6月7日(木)、中央会若手職員4名で佐賀工場団地協同組合の組合員である株式会社ミゾタ、株式会社サガシキ、佐賀鋳物株式会社の各社工場にお邪魔しました。

まずはゲートポンプ、水門、除塵機などの設計・製造及び据え付けまで行う「水の総合エンジニアリング企業」として治水・利水事業を展開する株式会社ミゾタ。製缶、ブラスト、組立などの各工程を見学させていただきました。特に印象的だった試験水槽は、西日本有数の大きさで、ポンプの製造に必要不可欠とのこと。

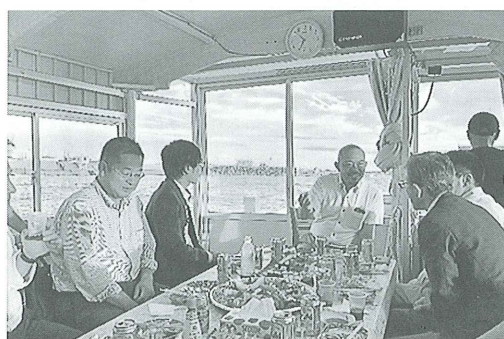
次に、様々な商品のパッケージを製造している株式会社サガシキ。案内されたエントランスからすぐのところに製品サンプルが展示されています。サンプルの中には、普段お店でよく見かけるお菓子やお酒の箱があり、実際に工場の中に入り、そのパッケージが作られるまでの過程を見学させていただきました。ただ印刷されるのではなく、組み立てやすいように折り目がつけられたり、艶出し加工がされたり、お客様のニーズに合わせて様々なパッケージが作られる様子からは確かな技術力を感しました。

最後に船舶用部品などの鋳物を製造販売する佐賀鋳物株式会社。鉄を溶かして型を取る現場では、佐賀で唯一の鋳物工場として、伝統を受け継いだ職人さん達の技が光ります。

普段なかなか見ることのできない工場の中を見学させて頂き、ものづくりに対するそれぞれの企業の思いや現場での熟練された技術を目の当たりにし、驚くことばかりでした。お忙しい中見学をさせて頂いた3社様、ご案内くださいました組合事務局長 松尾様、本会若手職員に貴重な機会をくださり、ありがとうございました。



諸富家具振興協同組合主催「えつ船観光」に参加しました!



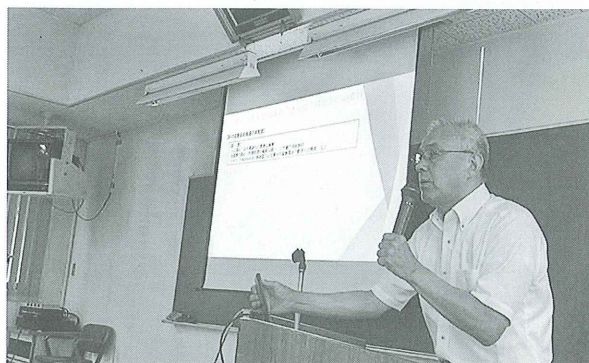
6月29日(金)、諸富家具振興協同組合(平田尚二理事長)が主催し毎年開催されている関係機関交流懇親会「えつ船観光」に参加しました。

諸富家具振興協同組合は、佐賀市諸富町で県内唯一の家具産地組合として共同展示会の開催など様々な共同事業を実施している大変活気のある組合です。

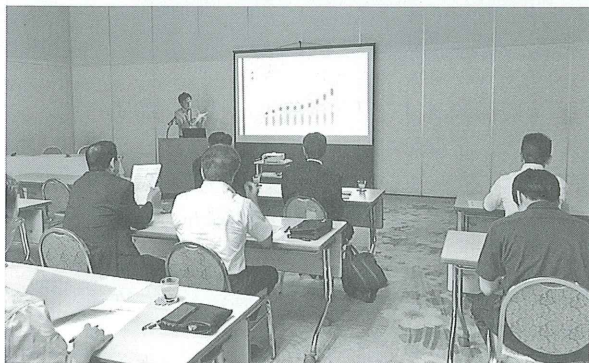
この催しは、組合や支援機関の関係者など日頃から組合運営に尽力している方々の労をねぎらい懇親を深める目的で年に一度開催されており、本会からも組合担当者をお招きいただいております。えつという魚は、国内では有明海にのみ生息するカタクチイワシ科の魚で、この時期に産卵のため筑後川下流域に遡上します。「えつ船」による観光は、えつの解禁時期に合わせて、毎年6月下旬～7月半ばに開催されており、地区の名物となっています。今年は約30名の関係者が集まり、佐賀の美味しい日本酒とお刺身やお寿司などの珍しいえつ料理を堪能しながら業界の発展等について意見交換することが出来ました。

当日は午前中降った大雨も止み、夕日に照らされ、暗くなるとライトアップされる筑後川昇開橋の下、船の上で参加者の皆様との懇親を深めることができました。組合の皆様、各関係機関の皆様、ありがとうございました。また来年も楽しみにしています。

各種・中央会出前講座を開催！



▲7月11日（水）、二水会様向け出前講座。本会江島専務理事。



▲7月20日（金）、協同組合戸上会様向け出前講座の様子

去る6月13日（水）、神崎市商工会の会員企業で組織する神崎市経営者懇談会（二水会）様に向けて、「外国人労働者雇用について」をテーマに本会労働部栗山部長が外国人技能実習制度に関するお話をさせていただきました。次いで7月11日（水）、同じく神崎市商工会の二水会様向けに、「中小企業のIoT利活用」に関する講座として、①「中小企業とIoT」のテーマに労働部舩田係長、②「『第4次産業革命』に必須のIT導入」をテーマに本会江島専務理事がお話をさせていただきました。

また、7月20日（金）には、協同組合戸上会様向けに「外国人労働者雇用について」というテーマで、「外国人技能実習制度等に関する講座」を労働部増永係長により実施させていただきました。

本会では補助事業による各種研修会等の支援事業のほか、各職員の持つスキルの範囲内で対応可能な内容のこうした各種出前講座も本会会員様向けに実施いたしますので、中央会の会員組合様におきましては担当指導員等に気軽にご相談ください。

佐賀県陶磁器工業協同組合・肥前陶磁器商工協同組合「夏の新作展示会」に中央会ブースを出展！



▲窯元・商社で賑わう会場の様子



▲中央会ブース

去る7月19日（木）、20日（金）、有田町「炎の博記念堂」におきまして恒例の「有田焼新作展示会」が開催されました。年初と夏に2回開催される新作展示会では、有田焼の各窯元が工夫を凝らして商品化した様々な新作有田焼が展示され、来場者である有田焼商社との商談が行われます。

そして、商社を通じて、素晴らしい有田焼が私達の手元に届けられる事になります。この有田焼夏の新作展示会に、中央会も中央会補助事業等をお知らせする目的で出展をさせていただきました。

出展ブースでは、本会PRの為にムービー上映を行いながら、中央会組織と事業等をPRするパンフレットを配布させていただきました。



そんな時は

佐賀県よろず支援拠点

(佐賀県地域産業支援センター内)

0952-34-4433

に相談してみませんか?

会社のセキュリティ対策のヒントが見つかりますよ。

実際に被害に遭った時は

- ・ 最寄りの警察署
- ・ 佐賀県警察本部サイバー犯罪対策課

(代) 0952-24-1111

にお電話ください!



私たちは『サイバーセキュリティ対策に関する相互協力協定』を締結し
連携して県内企業のセキュリティ対策に取り組んでいます

佐賀県		SPP 佐賀県警察	
佐賀県商工会議所連合会		佐賀県商工会連合会	
佐賀県中小企業団体中央会		(公財) 佐賀県地域産業支援センター	

佐賀県中小企業団体事務局代表者会通常総会開催！



去る7月4日（水）16時40分、佐賀市松原・佐嘉神社記念館において、県内事務局代表者で組織する「佐賀県中小企業団体事務局代表者会」の通常総会が開催されました。

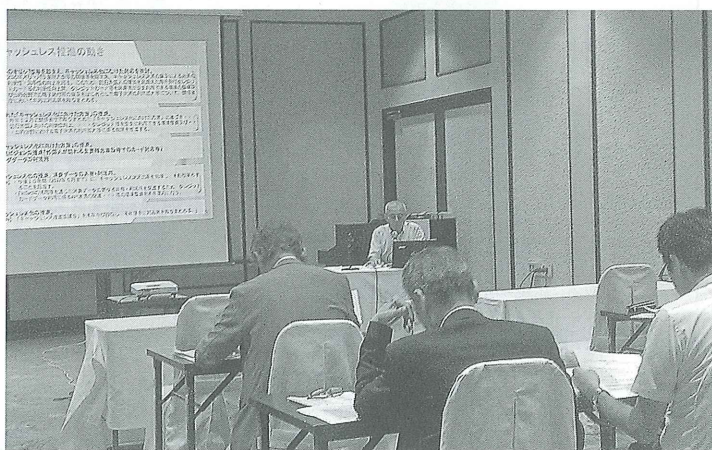
本会会長である佐賀県陶磁器工業協同組合・百武龍太郎専務理事の開会の挨拶で始まった総会では、平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・予算案について審議がなされました。平成30年度の事業計画の中では、激変する国際情勢に揺れ動く経済環境下、国策の動向を見据え、会員に対し

ての適切な情報提供を行い、佐賀県中小企業団体中央会との連携による各種事業の実施、会員組合の要望実現に向けた動きの促進を行い、事務局の資質向上のための講習会（研修会）を重点事業として実施して事務局担当者の能力を高める事業計画案を原案通り可決いたしました。

また、今年は役員改選期にあたり、会長には佐賀県陶磁器工業協同組合・百武龍太郎専務理事が再選任されたほか、副会長に佐賀工場団地協同組合 松尾利弘 事務局長、幹事に佐賀県美容業生活衛生同業組合 石丸忠良 事務局長、佐賀県中央経営コンサルタント協同組合 伊藤健一 理事長、佐賀県物流センター協同組合 久富政幸 事務局長、肥前陶土工業協同組合 一ノ瀬秀治 事務局長のそれぞれの方が、会計監事には佐賀県火災共済協同組合 中地武実 常務理事が選任されました。

総会に引き続き、17時30分から、早速今年度第一回講習会が開催されました。

今年度の講習会では、いわゆる「第四次産業革命」による来るべきSociety5.0の普及に鑑み、Society5.0の中でも重要な要素である「キャッシュレス」について、「IoTが変える地域中小企業～キャッシュレス決済の動向」をテーマとして、国の施策ロードマップから現状はどうであるのか、諸外国の動向と地方でこれをどう取り組んでいくべきかに関して佐賀県中小企業団体中央会の江島秋人専務理事による講座を開催いたしました。



総会、第一回講習会に続き、佐賀県産業労働部経営支援課より副課長 森正典さま、商工組合中央金庫佐賀支店より支店長須田正紀さま、三井生命保険株式会社佐賀支社より支社長岩間幸裕さまをご来賓に迎えて交流懇親会が盛会に催され、ご来賓交えて会員同士大いに情報交換を行い、交流を深めました。

業務ご多忙のなか、通常総会にご出席いただいた代表者会会員の皆様、どうもありがとうございました。

佐賀県中小企業団体事務局代表者会

会 長 百武龍太郎（佐賀県陶磁器工業協同組合 専務理事）

会員数 32名

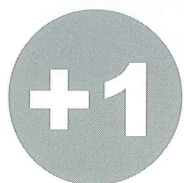
事務局代表者会は、事務局を持つ佐賀県内の協同組合の事務局代表者同士の交流と研鑽を目的に結成されました。

加入等のお問い合わせは事務局0952-23-4598（中央会内・舩田）まで。

労使一体となって計画的に 年次有給休暇を取得しよう



働き方・休み方を変える第一歩として、「プラスワン休暇」を実施しませんか？



土日・祝日に年次有給休暇を
組み合わせて、連休を実現する
「プラスワン休暇」。

労使協調のもと、年次有給休暇を
組み合わせて、3日(2日)+1日以上
の休暇を実施しよう。

2018年7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13 プラスワン休暇 +1	14
15	16 海の日	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しませんか？

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数については、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度を導入している企業は、導入していない企業よりも年次有給休暇の平均取得率が8.5ポイント高くなっています(平成28年)※。この制度を導入することによって年次有給休暇が取りやすくなると考えられます。※就労条件総合調査

1) 導入のメリット

事業主

労務管理がしやすく計画的な
業務運営ができます。

従業員

ためらいを感じずに、
年次有給休暇を取得できます。

2) 導入例

例えば、2018年の夏季休暇に導入すると？

年次有給休暇を土日、夏季休暇と
組み合わせて、連続休暇に。

土日、夏季休暇に計画的付与の年次有給休暇を組み合わせて連続休暇に
することができます。また、□点囲みのような日に年次有給休暇をさら
に組み合わせることで、大型連休にすることも可能です。

2018年8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 山の日
12	13 夏季休暇	14 夏季休暇	15 夏季休暇	16 計画年休	17 計画年休	18
19	20 プラスワン休暇 +1	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

3) 日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1

年次有給休暇の付与日数が10日の従業員

5日

事業主が計画的に付与できる

5日

従業員が自由に取得できる

例2

年次有給休暇の付与日数が20日の従業員

15日

事業主が計画的に付与できる

5日

従業員が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

4) 活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

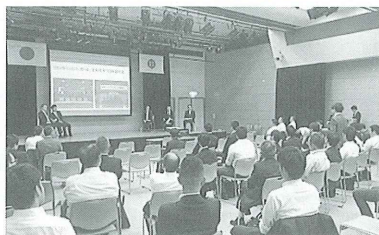
方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用

第42回青年中央会通常総会 開催!

去る6月28日(木)、佐賀市において、第42回通常総会等が開催されましたのでご報告いたします。



通常総会・洲上前会長の挨拶



座談会



懇親会

◇第42回通常総会 (於：佐賀市文化交流プラザ エスプラッツホール)

平田副会長の開会の辞で幕を開け、国歌斉唱をし、小田副会長による綱領朗読と全体で行動指針唱和の後、洲上会長よりご挨拶をいただきました。その後洲上会長が議長に選出され、青年中央会通常総会の議案の審議では初の試みとなる、役員の方(第1号議案…吉原幹事・徳永幹事、全青中総会in佐賀…陣内副会長・平田副会長、監査報告…池田監事、第2・3号議案…林田幹事・石丸幹事)による議案説明を行い、承認されました。続く第4号議案では、役員改選について審議されました。3期6年青年中央会を牽引し盛り上げていただいた洲上史貴会長が勇退されて、新たに原田守新会長(佐賀県環境整備事業協同組合青年部)が選任され、本総会終了後直ちに就任する事を承諾し、新役員を代表してご挨拶をしていただきました。(新たに選任されました新役員については以下記載の通りです。)その後、事務局より補助事業について説明を行った後、陣内副会長の閉会の辞により総会は幕を閉じました。

会 長 原田 守 (佐賀県環境整備事業(協)青年部)

副会長 小林圭造 (佐賀県造園(協)青年部)、木下直哉 (佐賀県印刷人若楠会)、北村好広 (佐賀県醸造研究会)

幹 事 田島隆博 (佐賀県板硝子商(協)青年部)、林田一郎 (協)鳥栖商工センター若桜会)、堤 雄亮 (佐賀県電気工事業(工)青年部)、山口紘史 (有田はなぶさ会)、石井辰憲 (諸富家具振興(協)青年部)、鳥谷豪志 (佐賀県貨物自動車事業(協)青年部 青運会)、下村耕司 (有田陶交会)、山口 浩 (佐賀県旅館ホテル(生衛)青年部)、坂井孝匡 (佐賀青果食品(協)青年部)、大串久昭 (佐賀県菓業青年会)、伊藤 喬 (佐賀県ビルメンテナンス協会青年部)

監 事 石丸孝洋 ((協)佐賀県鉄構工業会)、森 政紹 (佐賀県瓦事業(協)青年部)

◇佐賀UBAサミット (於：佐賀市文化交流プラザ エスプラッツホール)

通常総会に引き続き、平成29年度に青年中央会の後継者育成等支援事業を活用して視察研修をされた有田陶交会(担当：徳永さん、テーマ：①地元と都会の展示方法の違い②DESIGNARTへの出展効果について、東京)と、(協)鳥栖商工センター若桜会(担当：林田さん、テーマ：福祉の現状と今後について、熊本)にそれぞれ事業報告をしていただきました。またその後、原田新会長と前正副会長の4名による座談会を行いました。原田新会長による司会で、前正副会長に3期6年を終えてどうだったか、また青年中央会の経験で良かったことや将来の展望等について笑いも交えつつ熱く語っていただきました。会場参加者の方にも発言いただく場面も数多くあり、会場全体の協力で素晴らしいサミットとなりました。

◇交流懇親会 (於：ダイニングバー86)

総会、佐賀UBAサミット終了後会場を変え、小林新副会長による司会進行で懇親会が開催されました。原田新会長による挨拶の後、来賓の紹介が行われ、来賓を代表し山口佐賀県知事からご祝辞を賜りました。商工中金の須田支店長より乾杯のご発声をいただき、会場内の熱気を吹き飛ばすほど会場内は大変盛り上がり、あっという間に中締め時間となりました。中締めは日本政策金融公庫の中谷支店長に見事な中締めをいただき盛会裏に終了いたしました。

山口佐賀県知事をはじめ、ご臨席いただきましたご来賓の皆様、誠にありがとうございました。また、第42回通常総会等の開催にあたり、洲上前会長をはじめ、ご協力いただきました新旧役員の皆様方、当日ご参加いただいた各組合青年部の皆様、本当にありがとうございました!



佐賀県中小企業青年中央会 (佐賀UBA)

会 長 原田 守 (佐賀県環境整備事業(協)青年部長、(株)エムズグリーンサービス専務取締役)
会員数 37名

佐賀県中小企業青年中央会(佐賀UBA)は、県内経済の次代を担う中小企業組合の青年経営者、若手後継者等の育成を主な目的として昭和51年に結成されました。現在、単なる後継者育成事業に留まらずに、互いに交流を深め意見を交換しながら、業種の垣根を超えたビジネスの創出、ビジネス・マッチングによる新しい経済活動の創出を目指し活動しています。本会の趣旨に賛同していただける未加入の組合青年部がございましたら、是非加入をご検討ください。

お問い合わせは事務局0952-23-4598(中央会内)まで。

企業の人事担当者の皆様へ

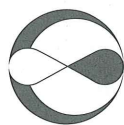
当センターでは

**人材の確保・従業員の再就職を
支援しています。**

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください



安心と信頼のネットワーク

公益財団法人

産業雇用安定センター佐賀事務所

佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル10階

TEL0952-22-7163 FAX0952-27-9163

インターネットで最新の人材情報をどうぞ

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況NEWS

平成30年5～6月分

佐賀県内中小企業36業界の景況

中央会では、県内36業界より情報連絡員を委嘱し、毎月その業界の景況等についてご報告を頂いております。

ご報告いただいた平成30年5～6月分の景況は下記の傾向を示しています。

なお、全国中央会が取りまとめている全国の調査結果をご希望の方は本会までご連絡下さい。
全国中央会ホームページ (<https://www.chuokai.or.jp/keizai.aspx>) からもご覧いただけます。

5月、6月の傾向

(調査票取りまとめ：平成30年7月13日 情報連絡員総数36名：5月回答数34名：回答率94.4%、6月回答数33名：回答率91.7%)

今期（5-6月期）の景況調査結果について<前月比>DI（全業種）をみると、主要指標の「売上高」は、5月時調査結果ではマイナス17.7と、6月時にはマイナス24.3と前期（3-4月期）と比較しても横ばいの低調な動き。同じく主要指標「収益状況」に関しては、5月時調査結果マイナス20.6、6月時調査結果はマイナス12.1となり、大きく改善はされていないものの、多少マイナス幅が減少する結果となった。「業界の景況」については、5月時調査はマイナス11.8、6月時調査ではマイナス18.1となり、「売上高」と同様の横ばいの低調な動きだった。

また、景況調査の結果について<前年同月比>DI（全業種）でみると、「売上高」については、5月時調査はプラスマイナス0と前期時調査から横ばいだったが、6月時調査結果ではマイナス24.3となり、一気にマイナス幅が拡大する結果となった。一方「収益状況」については、5月時調査結果はマイナス29.4、6月時調査結果もマイナス21.2となり、「売上高」と反する動きとなった。「業界の景況」についてみると、5月時調査ではマイナス11.7、6月時調査ではマイナス30.3となり、「売上高」と同様にマイナス幅が拡大する低調な傾向が続いている。（グラフ参照）

●DI[景気動向指数]値(全業種)

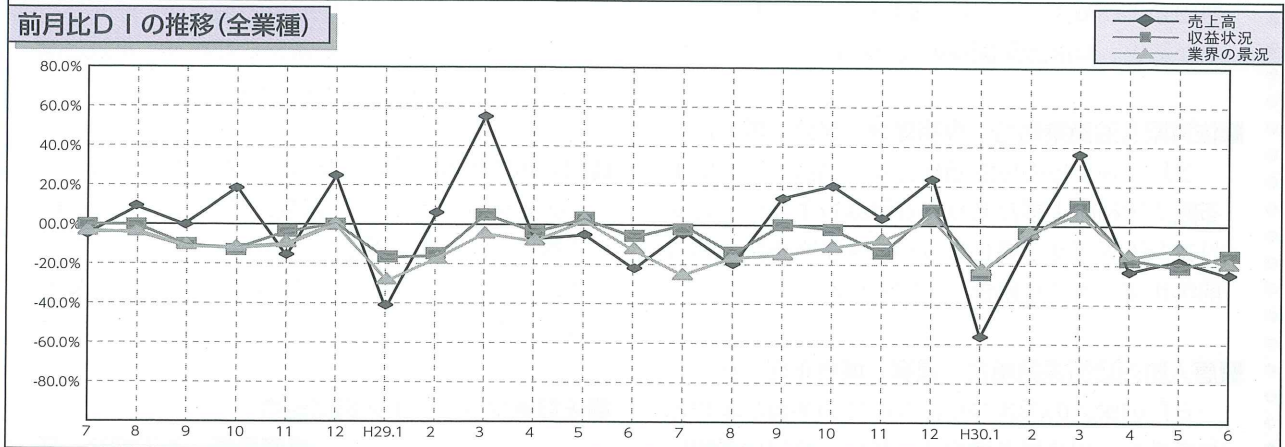
上段が5月分、下段が6月分

	前 月 比					前 年 同 月 比				
	↗	→	↘	DI	評価	↗	→	↘	DI	評価
売上高 [DI]=[増加]－[減少]	23.5%	35.3%	41.2%	-17.7%	☹	29.4%	41.2%	29.4%	0.0%	☹
	21.2%	33.3%	45.5%	-24.3%	☹	21.2%	33.3%	45.5%	-24.3%	☹
在庫数量 [DI]=[減少]－[増加]	8.3%	75.0%	16.7%	8.4%	☺	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%	☺
	8.0%	68.0%	24.0%	16.0%	☺	8.0%	68.0%	24.0%	16.0%	☺
販売価格 [DI]=[上昇]－[低下]	8.8%	88.3%	2.9%	5.9%	☺	11.8%	79.4%	8.8%	3.0%	☺
	3.0%	87.9%	9.1%	-6.1%	☺	12.1%	75.8%	12.1%	0.0%	☺
取引条件 [DI]=[好転]－[悪化]	0.0%	88.2%	11.8%	-11.8%	☹	0.0%	91.2%	8.8%	-8.8%	☺
	0.0%	90.9%	9.1%	-9.1%	☺	0.0%	90.9%	9.1%	-9.1%	☺
収益状況 [DI]=[好転]－[悪化]	8.8%	61.8%	29.4%	-20.6%	☹	8.8%	53.0%	38.2%	-29.4%	☹
	9.1%	69.7%	21.2%	-12.1%	☹	15.2%	48.4%	36.4%	-21.2%	☹
資金繰り [DI]=[好転]－[悪化]	0.0%	85.3%	14.7%	-14.7%	☹	0.0%	76.5%	23.5%	-23.5%	☹
	3.1%	84.4%	12.5%	-9.4%	☺	3.0%	72.8%	24.2%	-21.2%	☹
設備操業度 [DI]=[上昇]－[低下]	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	☺	13.3%	60.0%	26.7%	-13.4%	☹
	0.0%	93.3%	6.7%	-6.7%	☺	6.7%	73.3%	20.0%	-13.3%	☹
雇用人員 [DI]=[増加]－[減少]	2.9%	91.2%	5.9%	-3.0%	☺	5.9%	88.2%	5.9%	0.0%	☺
	3.0%	97.0%	0.0%	3.0%	☺	6.1%	75.7%	18.2%	-12.1%	☹
業界の景況 [DI]=[好転]－[悪化]	8.8%	70.6%	20.6%	-11.8%	☹	11.8%	64.7%	23.5%	-11.7%	☹
	6.1%	69.7%	24.2%	-18.1%	☹	6.1%	57.5%	36.4%	-30.3%	☹

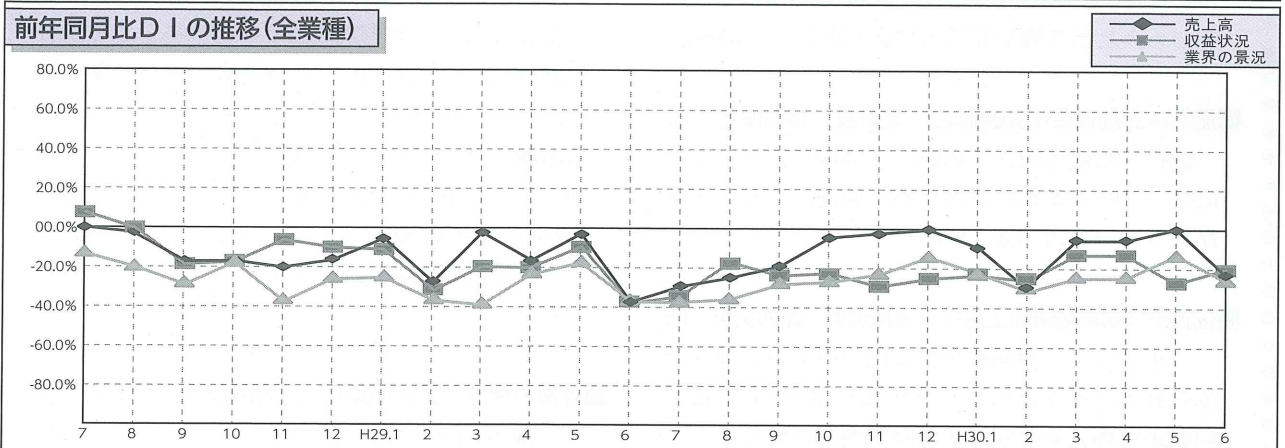
☺=良い (DI>30%)、☺=やや良い (30%≥DI>10%)、☺=変わらない (10%≥DI>-10%)
☹=やや悪い (-10%≥DI>-30%)、☹=悪い (DI≤-30%)

●DI（景気動向指数）値の推移

前月比DIの推移(全業種)



前年同月比DIの推移(全業種)



< 業界通信 >

■嬉野茶商工業協同組合 理事長 中山明則 氏

今月は2番茶の仕入も終り、各商社今後は販売に力を入れ始めます。2番茶は品質、価格も去年より安く、量も取れ販売しやすくなっており今後に期待しております。しかし、夏は茶の販売が低迷する時期であり、組合や各商社ではおいしい冷茶の販売に力を入れ、夏の売上の増加に期待しております。

■佐賀県陶磁器工業協同組合 専務理事 百武龍太郎 氏

共販は前年比96.73%前々年比84.25%。相変わらず2極化の傾向は変わらず、全体的な底上げは見られません。燃料高騰の影響での収益悪化が気になるところであり、大手チェーン店との取引での価格設定の動向に注視が必要である。

■肥前陶土工業協同組合 参事 一ノ瀬秀治 氏

6月の陶土共同販売高は対前年同月日約88%、対前月比約97%で推移する見込み。前年同月比マイナス幅が拡大。このまま低需要期に入っていくと思われ、かなり厳しい夏になりそうである。

■肥前陶磁器商工協同組合 専務理事 藤 雅友 氏

前月比、91.72%、前年比91.25%。陶磁器市場環境は依然として動きが厳しいように思える。そういう中、商工での商品開発の取り組みもみられ、今後に期待が持てる部分もある。夏場を迎えるが、消費動向にあった商品作りを期待したい。

■佐賀青果食品協同組合 理事長 岩永敏機 氏

6月は平年より気温の高い日が多く、好天の日が多かったのでキャベツ、レタス、トマトは平年に比べて1割位安かった。とうもろこしも生産が順調で良品質でうまいものが安めに入手できた。果物も入荷順調で、今年は気温が高い日が多かったので佐賀県産の桃の糖度も高めで、平年よりやや安かった。以上のように青果物はやや安く、入手も楽だったが、消費者の購買意欲は低く、業界はあまり活気が無かった。6月18日に発生した大阪北部地震は佐賀の青果物の流通にはほとんど影響がなかった。

■鮮魚組合 担当 坂田重利 氏

6月中旬は台風5号影響で入荷量が少なく、高値で動く。販売価格に転嫁できず。アニサキス(食

中毒)の影響で父の日の刺身、にぎり寿司用の生魚の売上が減少。6月は、刺身、にぎり寿司の売上が減少。鮮魚惣菜関連の商材が動く。

■佐賀県石油商業組合 専務理事 光武 繁 氏

5月中旬からの原油価格上昇と為替の円安による販売価格の上昇があり、6月はレギュラーガソリン156円/ℓで高止まりしたまま販売数量も対前年比マイナスが続き、辛抱のしどき。

■唐人町商店街振興組合 理事 城島正樹 氏

8月の栄えの国まつりに向けての準備が本格化してきた。組合員を増やすと共に、祭りの運営に関わる人たちを増やすことが必要となっている。

■鳥栖本通筋商店街振興組合 理事長 緒方俊之 氏

現在、新規店舗が2店内装工事中で、7月8月には、OPENするとみられる。現在、シャッターが下りている店舗は2店。

■佐賀県自動車整備商工組合 専務理事 保利昌宏 氏

今年4月に、自動車整備に携わる人材の確保育成を図る為産学官による「H30年度第1回佐賀県自動車整備人材確保・育成連絡会」が開催され、情報の共有及び意見交換を行った。また、6月には昨年に引き続き、国(佐賀運輸支局)と伴に佐賀県内の高等学校10校の校長等を直接訪問し、自動車整備の仕事の社会的重要性、将来性について説明を実施した。訪問した多くの高等学校で、自動車整備の仕事や整備士が不足している状況を理解いただき、パンフレットによる校内での情報共有や、進路指導の際に整備の仕事を選択肢として紹介する等の前向きな反応をいただいた。

■佐賀県クリーニング生活衛生同業組合

理事長 坂本豊美 氏

このたびの台風洪水土砂崩れで被災された方々には心からお見舞い申し上げます。佐賀の組合員さん宅は被害にあわれた方はいないようでした。クリーニング業界は仕事がなく愚痴をこぼす現状です。景気向上はクリーニング業界には無縁です。

■佐賀県美容業生活衛生同業組合

事務局長 石丸忠良 氏

- ・売上高は、前月比、前年比とも大差なく、低位安定の状況が続いている。
- ・設備資金借入の相談は、前月に引き続き発生し増加傾向を示した。しかしながら老朽化による

更新がメインであり、積極的な設備投資はまだ発生していない。新規開業の相談が1件発生したが、前年に比べても減少しており、新規店舗の増設は若干陰りを示している。

■唐津市旅館協同組合 理事長 松下隆義 氏

従業員の不足により、客数の増加につながらず、苦慮しています。募集しても中々集まらず良策を案じています。民間、行政両方のあっせん募集をしています。

■佐賀県ソフトウェア協同組合

事務局長 原田博充 氏

生産性向上や働き方改革等への対応としてのIT需要は増加傾向にあり、Sier各社の業績は悪くない。今後も利用者ニーズの変化へ対応していく為の継続的な取り組みが必要。但し、パートナー等からの要員協力も難しいなど、業務量に見合う従業員・人財の確保も難しくなっている。人件費増加・外注単価の増加等による収益への影響も懸念される。

■佐賀県建設工業協同組合 常務理事 川副健治 氏

平成30年6月の公共事業は、前年同月比では件数は8.8%の減、前月比で17.6%の増、請負額では前年同月比30.0%の減、前月比61.2%の減となっている。

平成30年5月の住宅着工は、戸数では前年同月比17.8%の減、前月比で5.9%の減、請負額では前年同月比は21.0%の減、前月比で54.7%の減となっている。

■協同組合佐賀県鉄構工業会 事務局長 大坪一徳 氏

業 況：手持工事量及び工場稼働率は、ここ数ヶ月変わりなく高水準となっている。今後もこの状況が継続すると予想される。組合員の手持工事量は平均3ヶ月、工場稼働率は平均95%である。

動 向：今後、需要は多くなるとの予想。材料調達及び外注の確保等、早めの対応が必要となる。

問題点：鋼材の納期遅れが深刻な状況となっており、工場製作工程に支障が出ている。

本年6月1日付で本会事務局に新しい職員が加わりましたのでご紹介いたします！新たに若い力を得て、会員組合とその傘下県内中小企業の皆様の企業経営発展に繋がる支援に益々の力を発揮することが出来る中央会としていけるように、職員一同も新たな気持ちで頑張りたいと思いますので、フレッシュマン共々ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

労働部 主事 山口 侑真



はじめまして。6月1日より労働部に配属になりました山口侑真と申します。佐賀県佐賀市出身です。

佐賀北高校卒業後に崇城大学で学び、福岡で業務用機械メーカーの営業をしていました。現在25歳です。

体型のせいでよく聞かれますが、ラグビーも相撲もしたことがありません。ただの肥満ですので、趣味の卓球とテニスを通じて改善していくつもりです。入職して2か月弱経過しましたが、まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけしていますが、優しい諸先輩方のおかげで毎日前向きに楽しく新しい事を覚えながら、働いています。

年齢より少し上に見られる事が多いのですが、若さに溢れていますので年齢相応のフレッシュなあいさつを忘れずに、自分のできることからコツコツとスキルを身に付けていき、1日でも早く皆様の役に立てるようになりたいと思います。これからよろしくお願いいたします！

安心

活気

やる気

働くみんなに 退職金効果！

中退共は、国がサポートする中小企業のための退職金制度です。

安全 国の制度だから安心
掛金の一部を
国が助成します。

有利 掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単 社外積立だから
管理もラクラク
転職先でも引き継げる
「通算制度」があります。

- パートタイマーさんや家族従業員もご加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等とのポートビリティも可能です。

詳しくはホームページを
ご覧ください

中退共

検索

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>



独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1
TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

これからの行事・イベント

組合等

◎大川内山風鈴まつり

日 時：～8月31日(金)

場 所：伊万里市 秘窯の里 大川内山

お問合せ：伊万里鍋島焼協同組合 TEL:0955-23-7293

概 要：今年も大川内山に伊万里焼の風鈴の優しい音色が響き渡ります。初夏の大川内山に涼を求めて足を運んでみてはいかがですか。各窯元では水に関するデザインの風鈴や器などが展示・販売されています。

◎肥前さが幕末維新博 特別展 グググッ！グリコ展 -佐賀に生まれた創業者江崎利一の想いにせまる-

日 時：～9月2日(日) 9:30～18:00

場 所：佐賀県立美術館 3・4号展示室

お問合せ：佐賀県文化課 TEL：0952-25-7179

概 要：佐賀県出身の江崎グリコ創業者「江崎利一」氏にフォーカスをあてた興味深い企画展や面白いプログラムを実施します。

◎うれしカーニバル

日 時：8月10日(金) 19:00～

場 所：嬉野温泉本通り商店街

お問合せ：嬉野温泉商店街協同組合 TEL：0954-43-1115

概 要：嬉野温泉夏祭りの前夜祭として開催されている行事で、「うれしのほほん湯・遊・YOU」等道踊りで夏祭りを盛り上げます。

◎第38回秋の唐津焼展

日 時：9月26日(水)～9月30日(日) 9:30～17:30 (最終日は17時まで)

場 所：唐津市ふるさと会館 アルピノホール特設会場

お問合せ：唐津焼協同組合 TEL 0955-73-4888

概 要：茶道において一萩二楽三唐津として全国的にも有名な唐津焼を楽しめる恒例の展示即売会です。今年は逸品展と各窯元によるチャリティ展、御呈茶が楽しめます。どうぞお気軽に足をお運びください。

中央会

◎第70回中小企業団体全国大会

日 時：9月12日(水)

場 所：京都府京都市上京区「上七軒歌舞練場」及び「西陣織会館」

お問合せ：佐賀県中小企業団体中央会(舩田) TEL0952-23-4598

概 要：今年の全国大会テーマは「明治150年 歴史と文化、地域を支える中小企業が未来を拓く」。本大会は、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、英知の結集と団結の強化を図り、自らの決意を広く表明するとともに、国等に対し、中小企業団体の安定と発展を図るための実効ある諸政策の確立を要請し、中小企業の更なる発展に繋げていくことを目的として開催されます。本会会員組合のみならず多くの皆様のご参加をお待ちしております。(P. 4参照)

利用料無料!! 使わなきゃソン!

組合や組合員企業で行うイベントや行事など、県一円に広く告知したいものがありましたら中央会・労働部までご一報ください!

編集雑記

先日西日本を襲った豪雨災害の被害は甚大なものとなりました。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地復興・復興を願うばかりです。さて、先般閉幕したサッカーワールドカップロシア大会で、下馬評ではさほど期待されていなかった我がサムライブルー(日本代表)の活躍に胸躍らせた方も多かったのではないのでしょうか。そのサムライブルーが日本と世界を熱狂させている最中、8年前に人類初の小惑星からのサンプルリターンを成功させ、世界を驚かせた日本が誇る小惑星探査機「はやぶさ」の後継機である「はやぶさ2」が、目標である小惑星「リュウグウ」に無事到達したという「アップレ」なニュースが飛び込んできました。同時期のサムライブルーの活躍との対比で思うのは、スポーツ分野/科学分野双方で世界を驚かせる文字通りの文武両道の国・日本というは、どんな国難からでも必ず立ち上がる力を持っていると信じられるということです。己を信じ、力を合わせて復興に臨みましょう。(M)

COMMUNICATION NETWORK FOR MEMBERS

組合活性化情報誌 **Link** リンク NO.228

平成30年7月31日発行



佐賀県中小企業団体中央会

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号

佐賀商工ビル6階

TEL.0952-23-4598 FAX.0952-29-6580

URL <http://www.aile.or.jp> E-mail staff@aile.or.jp

県共済の各種プラン

営利でなく、相互の助け合いを目的に。

自動車総合共済 MAP

Mutual Automobile Policy

シンプルで
わかりやすく
納得の
共済掛金

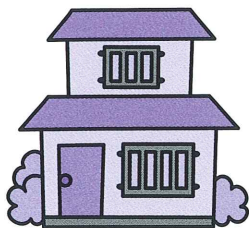
企業の経費節減、個人の家計費の軽減にお役にたつ共済事業
今、注目されています。



企業の経営者、従業員、ご家族の皆様にお役に立ちます。

建物等の災害には

- 火災共済
- 休業補償共済

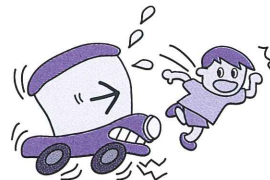


ケガや病気には

- 生命傷害共済
- 医療総合保障共済
- 傷害総合保障共済
- 所得補償共済
- 労働災害補償共済

車の事故には

- 自動車総合共済
- 自動車事故費用共済



お問合せ・お申し込みは 佐賀県中小企業団体中央会

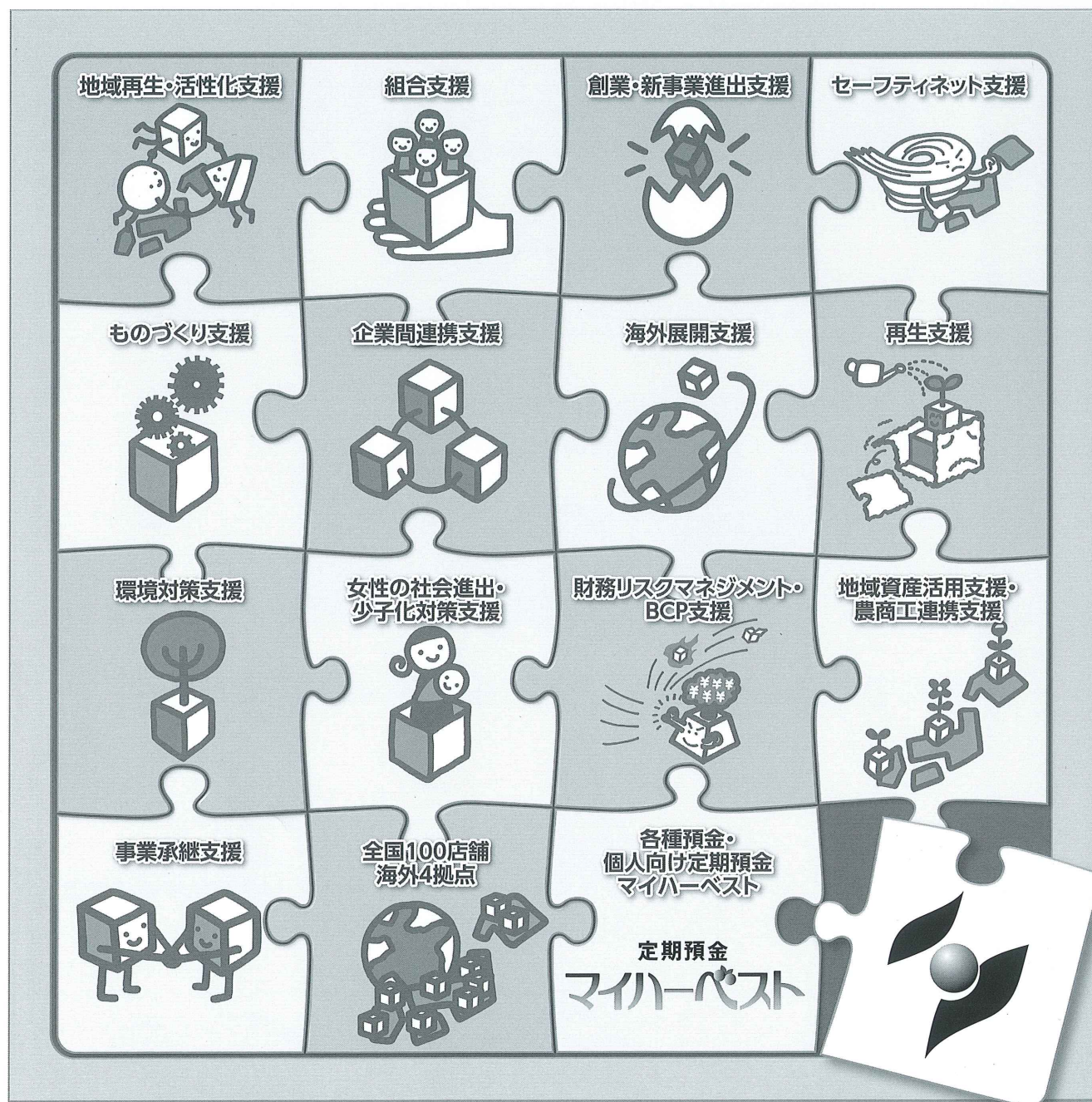


〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号

佐賀県火災共済協同組合

TEL0952-24-6984 FAX0952-24-6907

商工中金は、幅広いサービスで 中小企業と地域の未来を支えます。



商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする金融機関です。
お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。

佐賀支店 0952(23)8121

〒840-0801 佐賀市駅前中央1-6-23



人を思う。未来を思う。

商工中金